

平成29年度 予算決定

3月議会で決まったこと

平成29年3月定例会は、3月10日から21日までの12日間の会期で開きました。町長提出の29年度一般会計予算及び特別会計予算7件、指定管理2件、その他1件、平成28年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算5件を審議しました。このほか、議会への陳情3件、同意1件、発議1件を審議しました。

審査結果

議案第19号 平成29年度矢吹町一般会計予算
歳入歳出予算の総額をそれぞれ71億5000万円とし、あわせて債務負担行為、地方債、一時借入金及び歳出予算の流用について定めるものであり、平成28年度当初予算と比較して2・0%の増額となっております。

反対討論

人口減少が止まらないなど社会情勢が変化しており、以前のような交付税措置は望めないと考える。地方交付税額も減少してきており、20年前の数値まで落ちてきている。今回の予算案は、大型の箱物建設が入っており、町民が望む予算配分になっていない。

また、一昨年、消費税や介護保険料が値上げされており、国民、町民の所得が増えてい

平成29年度予算

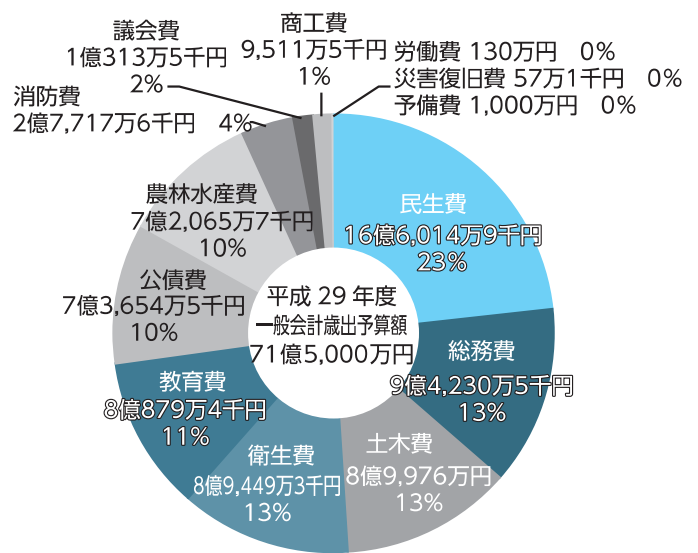
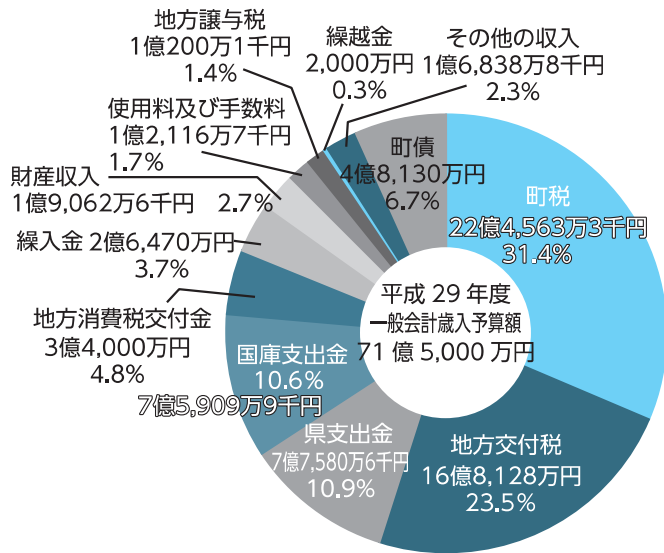
ない状況で町民の暮らしは厳しい状況であり、国保基金、財政調整基金などを活用しながら、国保料、介護保険料の低減に努めるべきと考え、本案に反対する。

賛成討論

今回の予算案は、第6次矢吹町行政改革大綱に基づいており、限られた人・予算の中で、町民の目線に立った、町民サービスの重視を第一に考えた予算である。また、本予算案は、第6次まちづくり総合計画に基づいて、3大プロジェクトに大きな事業予算を注ぎ込むことになっている。復興とそれに対する希望が形になっていく、予算編成となっているため、本案に賛成する。

起立採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決致しました。

平成29年度一般会計歳入歳出予算額



議案第20号 平成29年度矢吹町国民健康保険特別会計予算
本案は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ23億5305万9千円とし、一時借入金及び歳出予算の流用について定めるものであり、平成28年度当初予算と比較して2・5%の増額となっております。

反対討論

平成30年度から広域化され、平成29年度は町が運営する最後の年である。国保基金が3億円あり、町民の負担軽減をすべきであることから反対する。

賛成討論

厳しい財政状況の中、適切でバランスの良い予算となっております。本案に賛成する。

起立採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決致しました。

歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億9346万円とし、一時借入金及び歳出予算の流用について定めるものであり、平成28年度当初予算と比較して4.0%の増額となっております。

反対討論

一昨年度から介護保険料が値上げされ、町民の生活を鑑み、負担を軽減する何らかの方策をとるべきであるため反対する。

賛成討論

要介護者が増加している状況で、町では低所得者への支援体制を構築しており、国、県との負担割合も定められており、それを崩すとひずみが生じる恐れがある。よく取り組んでおり評価できるため賛成する。

起立採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決致しました。

主な質疑内容

《企画総務課》

Q. 不動産売却収入で応急仮設住宅財産処分の見込額が立てられています。現段階で見込みについてはどうなのか。

A. 応急仮設については3月一杯となっておりますが、今住んでいる方に今日明日退去するようには言えませんので、余裕をみなければと考えております。

《まちづくり推進課》

Q. 資源物改修コンテナはどこに設置するのか。

A. 20万円のコンテナ6基を予定しています。行政単位で話はしてありますが、場所ははまだ決定していません。

《税務課》

Q. 固定資産税について、新築建物が増えているとの説明だが、震災以前との比較資料があれば教えて欲しい。

A. 平成22年度と平成27年度の比較で、家屋の課税分で1億6千万円増加しています。新築数については、22年度が76件、27年度が146件となっております。

《総合窓口課》

Q. コンビニ交付の動向について、どうなっているのか。

A. 町としてコンビニ交付の導入について検討しているところですが、初期費用として4千万円、維持費用として年間2百万の経費が見込まれ、補助金の対象とするには、システムのクラウド化が必要になるなど大きなハードルがあります。

《保健福祉課》

Q. ヘルスアップ教室の参加者と内容等についてどうなのか。

A. 現在の参加者は105名程度となっております。内容についてはエアロバイク、ストレッチその他、イベントと

しまして健康づくり講演会や栄養教室、大池公園でのウォーキング等を実施しております。

《産業振興課》

Q. 道の駅の仮設店舗について、場所等は決定したのか。

A. 非常に難しい案件であり、年度末には設置することになるが、具体的には今後検討を進めていきたいと考えております。

《都市整備課》

Q. 道路側溝堆積物処理費の事業は、冠水しているところや通学路を優先に実施するのか。また、どのようにして進めるのか。

A. 平成29年度から平成32年度の4年間で全ての側溝の土砂上げを実行したいと考えておりますが、総延長600kmあり、堆積している土砂は1万³mを想定しており、総事業費20億円の事業であります。町内を矢吹地区で2地区、中畑、三神地区で1区毎の計4地区に分け、まずは来年度調査を実施し、町内全体の堆積状況等を把握したい考えです。緊急性や流出部分を勘案し、総的に進めてまいります。

《教育振興課》

Q. 矢吹中学校D棟の調査検討は誰に委託するのか。

A. 近隣自治体の学芸員に委託することを検

討しています。目録との突き合せや保存方法、展示方法等について助言をもらい、どのように進めていくべきか整理したいと考えています。

Q. 矢吹小学校大規模改修事業の成果は、どうなのか。

A. 成果については、内壁に断熱材を使用したことや廊下や階段室に扉等を設置したことにより断熱効果があらわれ、快適性が向上しています。さらに、木質化により学校全体が落ち着いた雰囲気となり児童たちへの学校生活にも良い影響を与えています。

《子育て支援課》

Q. 屋内外運動場の新たな事業者の独自提案はあるのか。

A. 基本的には現状維持します。それ以外に親子体操教室など提案されています。